



人・自然と豊かに関わる子どもの育成

～一人一人を大切に～

よく考える子ども

思いやりのある子ども

たくましい子ども

早くも新学期開始から2ヶ月が経ち、6月に入ります。先日、晴天に恵まれ、走リンピックを実施することができました。多くの保護者の方々に参観いただき、ありがとうございました。多くの応援を受けて、子どもたちは一生懸命自分たちのめあてに向かって頑張っていました。初めての経験にドキドキしながらも精一杯50mを走りきった1年生。1年生の時よりも複雑なコースにチャレンジし、リングバトンをつないだ2年生。初めての本格的なバトンパスに懸命に取り組んだ3年生。3年生の時よりもルールを理解し、スムーズなバトンパスを目指した4年生。ふりむかずにバトンをもらおうと頑張った5年生。トップスピードでのバトンパスを目指し、仲間を信じて全力で取り組んだ6年生。どの学年の子どもたちも輝いていました。お家でも一人一人の頑張りをほめていただきたいと思います。

また、6月10日（火）には音楽会を開催予定です。昨年同様、学年発表毎に保護者の入れ替えは行いません。トラブルなきようご鑑賞ください。（保護者間のトラブルには一切関知いたしません。）よろしくお願いいたします。

リーディング DX 認定校になりました

今年度、逢坂小学校は、文部科学省リーディング DX 事業の認定校となりました。教育における DX（デジタルトランスフォーメーション）とは、データやデジタル技術を活用して学校をより良く変革することを意味します。今、社会は「激動の時代」に突入しており、何が起きるか予測が困難な時代でもあります。このような時代を生きていく子どもたちに必要な資質・能力を身につけていくためにも、学校教育は大きな転換期を迎えています。中央教育審議会の答申（令和3年1月）では、「個別最適な学びと協働的な学びの一体化」を充実させることが提言されました。個々の児童生徒が自分の学びに責任を持ち、自分の意思で工夫して学びに取り組むこと、その学び方は一人一人異なってもよいのであり、どんな学び方が最適であるかというのは自分の意思で決めるのだということです。また、他者の学びが可視化され、いつでも他者参照ができるクラウド環境によって、自然と生じる協働性と、協働を踏まえて自分の学びを更新していくといった学びが期待されています。逢坂小学校では、令和3年度よりGIGA端末を活用した学習を取り入れてきました。今後は、さらに児童が何をどう学ぶのかを考えて教材を用意したり、必要な見通しを示したりし、可視化された個々の児童の学びの過程を把握することにより、相互啓発が生じるような実践を積み上げていきたいと思えます。このリーディングDXスクール事業は、GIGA端末という新たな環境における授業改善への挑戦を促進する事業です。今までの授業観に固執せず、個々の児童に力をつけることを大切にするという「不易」の実現のために、子どもを主語とした学びの支援の連続となる新しい学習支援を創造していきたいと考えています。



6月の行事予定

※予定の変更がある場合は学年通信等でお知らせします。

1	日		16	月	登校指導 クラブ活動
2	月	登校指導 委員会活動 弁護士による出前授業（5・6年）	17	火	ブックママ・パパ 4年ALSOK出前授業
3	火	5年校外学習（オーパル） 4年パッカー車見学	18	水	選書会 5年ALSOK出前授業
4	水		19	木	食育の日 4年校外学習（浄水場等） 6年ALSOK出前授業 歯科検診（3・5年）
5	木	4年ホールの子（びわ湖ホール） 内科検診（2・3年）教育相談日	20	金	3年図書館見学 5・5交流（5A）
6	金	プール開き 検尿2次 内科検診（1年）	21	土	
7	土		22	日	
8	日		23	月	4～6年6校時日課
9	月	音楽会前日準備 全校5校時日課	24	火	学校公開日（R8入学児童対象）
10	火	音楽会 音楽参観	25	水	下校指導 教育相談日
11	水		26	木	歯科検診（わかば・4・6年） 5・5交流（5B・5C）
12	木	耳鼻科検診（5・6年） 4年川探検（下流）	27	金	
13	金	全校5校時日課 エコスクール支援委員会	28	土	
14	土		29	日	
15	日		30	月	委員会活動 打出ブロック挨拶運動

学校運営協議会を開催しました

5月22日（木）に今年度第1回目の学校運営協議会を開催しました。はじめに、各学年の様子を委員の皆様に参加していただきました。その後、今年度の学校経営方針を承認していただき、「逢坂学区の子どもたちをどのように育てていきたいか」や、今年度の方向性等についてご意見をいただきました。委員の皆様からは、「人の痛みを理解できる、思いやりのある子に育ててほしい。」や、「子ども自身が考えて、いろいろなことをできるようになるとよい。」等のご意見をいただきました。また、自分の思いは言えるが、相手の気持ちがわかりにくい子どもが増えていると感じるということも話題になり、子どもたちが健やかに育つためには、大人が同じ事を何度も繰り返し話したり教えたりすることも大切ではないかということも出ました。様々な立場の皆様から、いろいろな切り口で貴重なご意見を聴かせていただくことができました。今回いただきましたご意見をもとに、「よさ」を活かし「課題」を解決していくための具体的な方策について、これからも熟議・検討を重ねていきたいと考えています。今後とも、これまでと同様、ご支援・ご協力をよろしくお願いします。

